

7 - 2 排水路の断面検討例

項目		現況	配慮レベル1
水路構造		二面張りブロック積み 護岸：コンクリートブロック積み（1：0.5） 底：土	二面張りブロック積み＋低水路 護岸：コンクリートブロック積み（1：0.5） 底：土 低水路：護岸：板柵 底：土
環境配慮条件		現況水路 非かんがい期においては水深が浅く、生息可能な魚類が少ない。	蛇行する低水路を設置により、多様な流れを創出するとともに、非かんがい期において、より多くの魚類が生息可能な水深を確保する。
粗度係数		護岸：0.016 底：0.030	護岸：0.016 土：0.030 板柵：0.029
水路勾配		1/1,000	1/1,000
非かんがい期流量 (0.3m ³ /s)	流量・流速	流速：0.33m/s	低水路 流速：0.45m/s 0.030 底幅：1.5m 水深：0.42m
	合成粗度係数	0.029	
	底幅・水深	底幅：5.0m 水深：0.18m	
洪水流量 (22.0m ³ /s)	流量・流速	流速：1.64m/s	流速：1.57m/s
	合成粗度係数	0.024	0.024
	底幅・水深	底幅：5.0m 水深：2.20m	底幅：5.0m 水深：2.64m
断面図			

・現況の計画最大流量、流速は国営事業における排水路の平均的な値

・工事比率の算出では仮設工事費は考慮していない